



「住まいの温もり」をつなぐ

コロナ禍の暮らしにも温もりを提供してきたゆるゆるのグループホーム

2020年の緊急事態宣言から数えて3年目の春、様々な対策や制限を強いられていたグループホームでの暮らしにも、ようやく明るい兆しが見えてきました。これまでの間、特に感染予防に気を付けながら利用者一人ひとりの暮らしに寄り添い、ワーカーやヘルパーがチームとなって繋いできたもの、それが「住まいの温もり」です。「どんな時でも、気持ちが安らいでほしい。」そう願うワーカーたちの一コマを紹介します。

グループホームの一つ、おしゃれな2階建ての「ポピーホーム」では、数名のワーカーが交代で日常の暮らしに寄り添い、ヘルパーが必要に応じて食事や入浴介助、また外出支援などの個別支援を行っています。

しかし2020年の緊急事態宣言以降、感染症対策は初めて取り組むことばかり。対面する食卓にアクリル板を設置するなどの施策はもちろん、何より自分が感染源になってはいけないと平素の行動制約に息が詰まることもありました。また、利用者にとっても、「泣きたくなったら泣いてもいい?」と毎日のように不安を口にするAさんや、好きな買い物ができずに我慢の日々が続いたBさんなど、いつも以上にストレスのかかる暮らしが続いていました。

しかし、「ワーカーはいつでも利用者一人ひとりの気持ちに寄り添うのが仕事。コロナ禍であってもなくても、住まいの温もりを提供し続けよう!ポピーホームに関わる者同士、そんな決意がありました」と語るワーカーのKさん。ワーカーやヘルパー同士が連携して思いを一つにし、チームで包み込むよう寄り添い続けています。



「何でも打ち明けてもらえる存在になりたい。」ワーカーのKさんは、利用者にとって心の拠り所。



ゆるゆるのヘルパーとしてポピーホームを訪問しているTさん。個別支援で、着替えや食事などの介助をしています。「甘えてくれるのは信頼の証。とても嬉しいです。」



Tさんと交代で個別支援に入る、ヘルパーIさん。「ポピーホーム開設当初からの付き合い。例え言葉がなくても気持ちが通じます!」



夜勤明けで記録をつけるワーカーのNさん。「いつも傍にいますよ!」そう思って、夜中の様子を確認しています。



「入居者皆さんが外出先から帰ってきて、ほっとしてくれたら、それが一番うれしい。」帰宅後の会話を楽しみにしているワーカーのHさん

いくつもの専門職が、切れ目なく寄り添うことで生まれる住まいの温もり。厳しい環境を乗り越えた新しい生活様式になっても、この思いは変わりません。

取材:広報委員会記者U子 (イラストレーター・ライター、名張市在住)



名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検索

児童発達支援センター〈どれみ〉

春の探検～散歩に行こう～



新年度が始まり、はじめましてのお友達とも、少しずつ関わりが見られるようになってきました。

さて、気候の良い日にみんなで散歩です。蝶々を追いかける子。広～い広場でかけっこをする子。季節外れのどんぐりを、まるで宝物を見つけたように集める子など。そして、小さなカエルにも出会いました。「いたいた!つかまえたあ〜♪」

春の広場は、子ども達にとって魅力的な宝物(自然)がたくさん溢れています。「これは何だろう??触ってみたい!」心がくすぐられる貴重な時間を、これからも子ども達と一緒に過ごしていきたいです!!

施設入所支援〈成美〉

いってらっしゃい



4年前からベトナムから2名の技能実習生が来ていますが、コロナが落ち着いてきたこともあり1か月ほど一時帰国することになりました。そこで、頑張っているお二人を見送るため「いってらっしゃいの会」を開催しました。

お二人が甘くておいしいベトナムのぜんざいを作って全員に振る舞い、ベトナムについてお話をしてくれました。質問もたくさんした後、利用者さんからお二人に手紙を読みます。気をつけて行ってきてね!そしてまた元気に成美に戻ってきてね!と思いを伝えます。1か月ほど少し寂しくなりますが、いってらっしゃい!

みはた虹の丘保育園

新しい先生



今年度6名の新しい先生を迎えた中から、2名を紹介します!

しおん先生!(左)~先生になって、嬉しかったことはなんですか?
『「しおんせんせい~!おはよ~!」と子どもたちから名前を呼んでもらった時です!』

しおん先生は、なんと北海道からブログを見て当園を選んで来てくれました!

ひろえ先生!(右)~入職してから一か月、今どんな気持ちですか?~

『子どもたちとのコミュニケーション一つひとつが自分にとって大事な宝物。その宝物が毎日増えていくことにとっても幸せを感じています!』と嬉しそうにお話してくれました。

これからもいっぱい遊んでみんなと一緒に大きくなろうね!

今月紹介した記事はすべて、「MiRAiレポートブログ」に詳しく掲載しています。
ぜひご覧ください。



▲ブログはコチラ

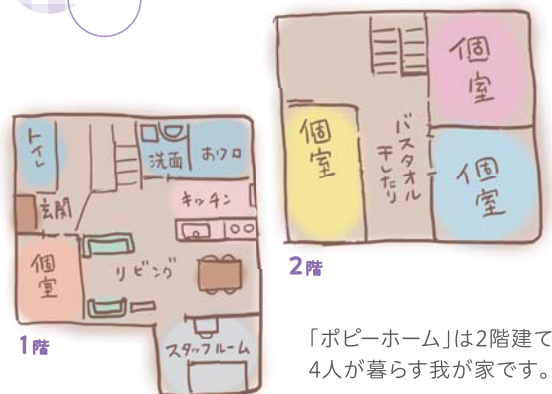
(表面より)

グループホームは「我が家」



グループホームとは、障害者や高齢者などが少人数ずつ地域で暮らす「家」のこと。それぞれワーカーが交代でお世話役となり、24時間寄り添っています。1991年(平成3年)、三重県の先駆けとして障害者のグループホームを開設して以来、名張市や伊賀市でグループホームを運営する「くらしサポートゆっくる」では現在、16

のホームで88の方が利用されており、この夏には伊賀市平田で新しい短期入所併設のグループホーム「オルハナ」が誕生します!



「ポピーホーム」は2階建て。4人が暮らす我が家です。